

◆◆◆ 糸数 昭 議員 ◆◆◆



◆◆◆ 答 社会教育課長 大城保篤 ◆◆◆

平成24年当時「国庫補助対象外」というのがありました。

平成27年の中途に、整備基本計画が「国庫補助対象」になると県の指導を受け、平成27年度の中途に補助事業を調整中でしたが、文化庁調査官から「整備基本計画を策定するには、地区内の土地の7割前後の公有地化と、遺構調査のデータの蓄積が必要」と指摘を受け、現在は、土地の表面の目視調査する遺構調査を随時実施しています。

質 山田城跡について、仕事の進捗状況もはつきりしなく、今後も見えない状態で、村長はどのような施策を考えているか。

◆◆◆ 答 村長 長浜善巳 ◆◆◆

山田城跡の保存、活用は進んでいない状況にあります。今後、国、県と調整の上、今課題となっている二つの問題をクリアしながら、保存、整備を推進して参ります。

◆◆◆ 文化の振興 ◆◆◆

質 山田城跡は、公有地化に向けて進んでいない、計画しても5年経過していますが、なぜ進行しないか、何が問題か。

◆◆◆ 商工観光業の振興 ◆◆◆

質 県内ホテルの稼働率は好調と言われる中、村内の各観光産業

やホテルの労働者不足は深刻になっていると言われています。労働者不足は喫緊の課題と思うがそのことに対し、行政はどのように考えているか。

◆◆◆ 答 商工観光課長 宮平 寛 ◆◆◆

今後、那覇空港第2滑走路やクルーズ船ターミナルの整備等を含め、また、村内におきましても、新たなホテルの建築等もあります、今後ますます厳しくなると考えております。

質 施政方針の中で雇用対策として「地域住民の雇用や元気な高齢者の短期間の就労等による対策を関係機関と協議していきます」とあります。今後、働き場をつくるシルバー人材センター設立を考えていないかどうか。

◆◆◆ 答 福祉健康課長 長浜保治 ◆◆◆

シルバー人材センターは、就職斡旋等の雇用対策のための組織ではなく、定年後の生き甲斐づくりが主な目的の組織と考えられております。

今後、シルバー人材センター設立につきましては、関係機関の意見を聴きながら、検討して参りたい

いと考えております。

質 今後、グローバルな人材を恩納村から輩出できるような、観光アカデミー等の創設も検討しているか。

◆◆◆ 答 商工観光課長 宮平 寛 ◆◆◆

今後、ますます増える外国人観光客への対応は急務であります。また、重要であると考えているが、観光アカデミー等の創設につきましては、現時点で具体的な計画はございません。

質 観光産業が、労働者不足で深刻な状態にあり、そのことに対して対策ができないか。

また、シルバー人材センターや観光アカデミーの設立や創設が、今後は不可欠であると思いますが、村長の見解をお伺いします。

◆◆◆ 答 村長 長浜善巳 ◆◆◆

現在、人手不足が深刻な状況にあります。私たちが、「シルバー人材センター」の設置で、どうにか良い方法で、手立てができないか検討しています。

今後は、各機関、ホテルのGM会、また商工業者、農業をする方々の意見も聞きながら、人材不足が解消できる方法を探って参りたい。

◆◆◆ 平良 幸夫 議員 ◆◆◆



◆◆◆ 第5次総合計画・後期基本計画より ◆◆◆

◆◆◆ 商工・観光業の振興 ◆◆◆

質 ICT技術を活用した、新たな産業の振興とは。

答 商工観光課長 宮平 寛
情報通信関連作業に対するサービス、製品の重要拡大が今後見込まれることありますので、

それらを生かした産業の振興が図れないか協議してきたい。

◆◆◆ 答 商工観光課長 宮平 寛 ◆◆◆

観光地に相応しい景観形成等、継続的に地域における環境美化活動や環境保全活動が行えるよう、必要な財源を確保するための制度です。

質 ホテル側から徴収するということが。

◆◆◆ 答 商工観光課長 宮平 寛 ◆◆◆

宿泊者の方から、協力金という形で徴収できないか考えたい。

◆◆◆ 質 「医療ツーリズム」どのように推進するのか。 ◆◆◆

県内他市町村においてもモニターツアーが実施されており、今後、村内のホテル関係者を交え意見交換をして、県内受け入れ可能病院と連携しながら推進していくと考えているところ。

質 「国道58号沿いでの観光交流拠点づくり」とは。

答 商工観光課長 宮平 寛
ハード事業としては「万座毛周

◆◆◆ 自然環境・景観の保全・育成 ◆◆◆

質 「サンゴ」の村宣言は何時、どのようにして行うのか。

◆◆◆ 答 企画課長 山城雅人 ◆◆◆

村民一人一人の自然環境に対する意識の向上を図り、サンゴ再生活動等を初めとした環境保全活動を展開して参ります。

質 「ナショナルトラスト運動」は、どう展開していくのか。

◆◆◆ 答 企画課長 山城雅人 ◆◆◆

本村が観光リゾート地として発展するためには、貴重な自然が

重要な課題であると考えており、その一つとして「ナショナルトラスト運動」により土地取得を考えております。

◆◆◆ 答 企画課長 山城雅人 ◆◆◆

自然を守りながら適正なる開発の誘導、経済活動も必要ですので、その点も考慮しながら進めたい。

◆◆◆ 行財政運営の充実・施策の展開 ◆◆◆

質 「財政基盤強化としての観光関係の特定収入の創設等」とありますが、どのようなものか。

◆◆◆ 答 総務課長 新里勝弘 ◆◆◆

ダイビング客への入り海料制度、宿泊観光客への協力金、観光地への入園料の環境協力金を念頭に入れたものです。

「観光地として、環境を整えていく」という、財源に充てる目的です。